

Title	企業における健康経営のための能力成熟度モデルの提案
Sub Title	Proposal of a capability maturity model for health and productivity management
Author	竹原, 朋子(Takehara, Tomoko) 白坂, 成功(Shirasaka, Seikō)
Publisher	慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科
Publication year	2017
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 2017年度システムデザイン・マネジメント学 第285号
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=K040002001-00002017-0049

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

修士論文

2017 年度

企業における健康経営のための
能力成熟度モデルの提案

竹原 朋子

(学籍番号：81633278)

指導教員 教授 白坂 成功

2018 年 3 月

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科
システムデザイン・マネジメント専攻

論 文 要 旨

学籍番号	81633278	氏 名	竹原 朋子
論文題目： <h2>企業における健康経営のための 能力成熟度モデルの提案</h2>			
<p>(内容の要旨)</p> <p>少子高齢化によって国民医療費が増大している一方、生産年齢人口は減少しており、日本の経済を維持していくために働く人の生産性を向上させることの重要性が増している。このような社会状況の中で、「健康経営」が注目されている。日本においても健康経営に取り組む企業は増加しつつあるが、比較的新しい取り組みであるため、取り組みを実行する上でのノウハウや研究が蓄積されておらず、企業の担当者の多くは手探りで健康経営を推進している状態である。そこで本研究では、企業の健康経営の担当者を支援することを目的として、健康経営のための能力成熟度モデルを提案した。</p> <p>健康経営のための能力成熟度モデルを開発するにあたって、先行研究をもとに健康経営として取り組むべき活動の範囲を定義した。先行研究によって、健康経営の取り組みとしてすでに明らかになっている組織改善アプローチと健康増進支援アプローチの2つについて、本研究ではそれぞれの活動をさらに詳細に定義した。組織改善アプローチについては、健康的な組織風土の形成とワークライフ・バランスの支援の2つの枠組みに分類した。健康増進支援アプローチについては、身体的な健康と精神的な健康それぞれについてハイリスクアプローチとポピュレーションアプローチに分類した。この活動範囲に沿って、先行研究で従業員の健康状態との因果関係が示されている具体的な要因を抽出し、健康経営のための能力成熟度モデルのキープロセスエリアとした。それぞれのキープロセスエリアについて、能力成熟度モデルの一般的な概念にしたがって5段階の成熟度レベルを定義した。</p> <p>健康経営の成熟度モデルの検証と妥当性確認としては、事例分析による検証と実適用による評価を行った。事例分析では、健康経営銘柄選定企業41社の事例を用いた。その結果、健康経営の能力成熟度モデルで各社の取り組みの現状を把握することが可能であった。また、実適用による評価では、企業で従業員の健康増進を担当する人が十分に理解でき、取り組みの評価と改善に利用できるものであることが確認できた。①健康経営として取り組むべき活動の範囲が具体的に理解できる、②自組織の健康経営の現状が理解できる、③健康経営の取り組みを改善するために行うべきことの方針を把握するという3点についても、本研究で提案する能力成熟度モデルによって理解が促されることが示された。したがって、健康経営の能力成熟度モデルは、企業において健康経営を実施する担当者を支援する有効なモデルであると結論付けられた。</p>			
キーワード (5語) 健康経営, 能力成熟度モデル, ヘルスケア, 経営管理			

SUMMARY OF MASTER'S DISSERTATION

Student Identification Number	81633278	Name	Tomoko Takehara
Title			
Proposal of a Capability Maturity Model for Health and Productivity Management			
Abstract			
<p>Currently, as society progresses, it faces a challenge of increased social security expenses. It is important for companies to promote health, in order to suppress the growth of social security expenses. Considering this, Number of the companies that start Health and Productivity Management (HPM) is increasing. To help individuals who are responsible for HPM, we propose a capability maturity model for health and productivity management (CMM-HPM)</p> <p>The validity of the CMM-HPM was evaluated by 2 ways. First, case studies about 41 companies were conducted. The 41 companies are selected from companies listed in "Health and Productivity Management (HPM) Stock Selection" examples of efficiently conducting HPM in previous research, and the "Corporate case study on HPM activities" by Japan Economic Organization Federation. Second, evaluation by implementation was conducted in 7 companies. The results confirm the validity of the CMM-HPM.</p>			
Key Word(5 words)			
Capability Maturity Model, Health and Productivity Management, Healthy Organization, Health care			